

学校法人 松樹学園

信州介護学校通信

けい しん さい 繋 心 祭

10月29日(土)に繋心祭を行いました。今年も新型コロナウイルス感染症の影響で大きな行事が中止を余儀なくされました。介護実習との兼ね合いで、実習先にご迷惑をおかけしないようにと配慮から中止となった行事もありました。

「繋心祭」には、学校も地域の一員として役割を担っていき様々な方と心を繋げていこうという意味をこめた経緯があります。今年こそは地域の方と交流する機会を積極的に設けていきたいと思いましたが、残念ながらそれを叶えることができませんでした。

今回は1・2年生との交流会として形を変え実施しました。グループに分かれて、カレー・キーマカレー・シチュー・ハヤシライスをそれぞれ協力して作り上げました。久しぶりの行事ということで、学生たちも良い表情をして楽しんでいました。後期に向けて、それぞれ自分の目標に向かって気合を入れることができましたと思います。



特別講話

今年は「未来の福祉を支える若者へのメッセージ」と題し、長野県介護福祉士会2代目会長上村富江様、現会長(5代目)鈴木よし子様、長野県介護福祉士会会員で高等学校の福祉コース非常勤講師でもある荒井祥子様をお迎えし、それぞれのご経験から、様々な視点でお話いただきました。

介護福祉士という資格が誕生して間もない頃から「研修なくして介護なし」と言い続けてきた上村様。職場でも介護福祉士の地位向上に向けてご尽力されたそうです。地域の皆さんと一緒に特別養護老人ホームを立ち上げた荒井様。ご自身の介護観をお話されている最中に胸が熱くなりながらもお話をしてくださり、聴講側の私たちも胸が熱くなりました。現会長として、ご活躍されている鈴木様。初代会長から職能団体を引き継ぎ、今年は長野県介護福祉士会設立30周年という節目を迎え、意義のある会にしたいと今後の展望をお話してくださいました。多様な介護を考えるきっかけとなりました。





コロナ禍での実習を終えて

2年生 コンダ・マーク・アンジェロ・オガヨンさん
(フィリピン出身)



この2年間で私は、5回の実習を終えました。昨年も今年もコロナ禍での実習を経験しました。一時は、コロナの影響で実習が中止になりそうになったこともありましたが、私はコロナ禍での実習でこそ、様々なことを意識しました。まず不要不急な外出は控えるようにし、こまめに手洗いというがいを行い感染予防に心がけました。実習を通して大切にしていたことは、様々な利用者様の話を聞き、話しかけるときは明るくゆっくりとした口調で、本人のペースに合わせるなどを大切にすることを意識しました。コロナ禍で家族と会えない利用者様に、少しでも温かい時間が持てるように心がけ、尊厳を大切にしました。

利用者様との時間はとても有意義な時間となりました。



第35回 介護福祉士国家試験に向けて

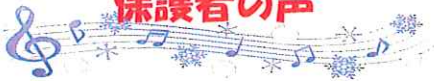


10月に入り本校の2年生も第35回介護福祉士国家試験に向けての授業に入ってきました。

令和5年1月29日(日)の試験日に向けて、今まで学習した全てを出せるようにラストスパートのエンジンをかけだしています。今回の介護福祉士国家試験では今までと違い、出題の順番が変わることが発表されています。今までの過去問などと違う出題の順番になりますが、学生には解く問題は同じなので、順番で気持ちが左右されず自信を持って試験に臨める力をつけてもらいたいと思っています。留学生も国家試験では普段使わないような日本語も出てきたりします。そのような言葉にも対応できるようにしっかりと対応していきたいと思っています。



保護者の声



保護者

永田 絵里さん
(2年生 深愛さん)



幼い頃から人の役に立つ事をしたいと言っていた娘、高校で福祉を学ぶ中で介護福祉士になりたいと思うようになり、学校説明会で雰囲気良く、少人数制である事が決め手となり入学しました。7人中3人が留学生という文化の違いはあっても、共に励まし支え合ってきた2年間であったと思います。何より先生方や実習先の皆様の指導のお陰で成長できた事に感謝いたします。

卒業生の声



2021年度卒業

モニカ・ジュリア・ワッティさん
(インドネシア出身)



在学中は、コロナの影響で帰国できず寂しい思いをしましたが、目標だった国家試験に合格できて良かったです。それは自分の努力だけではなく、先生方や同級生の協力のおかげでもあります。就職してからも分からないことがあれば他のスタッフに聞いて日々勉強しています。利用者様とのコミュニケーションも大事ですが、スタッフとのコミュニケーションも大切にすれば人間関係が良くなり、仕事も楽しくなります。これからも学校で学んだことを活かして仕事を頑張りたいです。

令和4年度 学校自己評価結果について

学校長 小松 瑞樹



国内で初の新型コロナ感染者が確認されてから3年が過ぎようとしています。昨年猛威を振るったデルタ株はオミクロン株へと変異し、終わりの見えない状況は今もなお続いています。

本校では令和4年春、社会人経験の方や留学生を含む23名の新1年生を迎え、7名の2年生と共に30名の学生の皆さんが、未来の介護福祉士を目指して学びをスタートしました。

「ゼロ・コロナ」の考え方から「ウィズ・コロナ」の時代へ。

学内での感染は概ね良好に予防することができていると評価しますが、家庭内または職場などでの感染は昨年以上に広がっている傾向にあると感じます。昨年までは時期を調整しながらも受け入れ先施設様の協力の下にすべての実習を実施させていただきましたが、本年度、とりわけ夏と冬の感染拡大により、一部学生においては学内実習に切り替えての実習となり、大変努力が必要な年となりました。教職員一同、学内実習となった学生が遅滞なくその学びを受けられるようカリキュラムを編成、実施することに苦労した年でもあります。

来年以降もこの経験を活かし、教育活動を続けていきたいと考えます。

「教職員による自己評価」の分野別平均値は、以下のとおりです。 ※()内は令和3年度数値

分野	評価値	分野	評価値
1 教育理念・目標・人材育成等	2.95 (3.39)	7 学生募集と受入れ	3.46 (3.67)
2 学校運営	3.09 (3.20)	8 財務	3.18 (3.46)
3 教育活動	3.00 (3.37)	9 法令等の遵守	3.06 (3.40)
4 教育成果	3.00 (2.87)	10 社会貢献	2.99 (3.15)
5 学生支援	2.83 (3.90)	11 意見要望の把握及びその活動	2.89 (3.21)
6 教育環境	3.19 (3.22)	全体平均評価	3.06 (3.29)

学校自己評価の項目につきましては、11分野51項目となり、前年から評価内容に少し変更を加えての実施となりました。分野での変更はありませんが、評価項目の内容を、より現実に沿った厳しい評価ができるよう変更を加えたものとなります。教職員7名による評価は上記一覧表の結果となりました。

昨年と比較すると全体平均値は0.23ポイントの減となりました。総合的には「まあまあ取り組んでいる」以上の評価を得てはおりますが、さまざまな課題が見えてきた結果だと感じています。

評価点数が全体的に上がらなかった結果の一因としては、やはり新型コロナウイルス感染症の影響により、思っているような教育活動が十分行えていないことにあるかと思えます。とはいえ、全て感染症を理由にするのではなく、新たな教育活動のあり方を組み立てる必要があると考えます。

また、学生数増加によるそれぞれへの関わり方についても、従来通りの対応方法では十分な時間を確保することは容易ではありませんが、すべての学生の皆さんが本校で介護福祉士国家資格取得に向けて学ぶことができ良かったと感じただけのよう教職員一丸となって教育活動に邁進していく必要があります。

さらに、長年課題となっている卒業生との関わり方につきましても、非常勤講師として教育活動に参画していただき、介護実習に積極的に意見をいただくなど発展した関わり方を形にしていきたいと考えています。

学生募集活動の進捗につきましては好調です。

これからも学生一人ひとりの考え方や想いを尊重し、「知」「技」だけではなく、その礎となる「心」を伝えながら教育活動を続けていく所存です。

危機管理講話

契約書

注意

10月21日(金)に社会福祉法人平成会危機管理室宮澤優一室長をお迎えし、危機管理講話を開催しました。明治時代から約140年間、日本での成年年齢は20歳と民法で定められていましたが、民法が改正され、この4月1日から、成年年齢が20歳から18歳に変わったことを受け、「契約」を中心にお話をお聞きしました。



防災訓練



10月7日(金)に防災訓練を行いました。当日は雨のため、1階の学生ホールに避難しました。2年生は学生時最後の避難訓練となり、来年からは利用者様を避難させる立場となります。有事の対応は常に緊張感が必要になりますので、練習と思わず実際に火災があった想定をして訓練することが大切だと感じました。



認知症サポーター養成講座



9月29日(木)に、認知症サポーター養成講座を1年年生を対象に開催しました。講師には社会福祉法人平成会の田中様をお招きして、なぜ認知症になるのかなど教員と違った目線で、現場で培ったお話をしてくださいました。認知症の方との関わり方は教員も混ざり寸劇を行いわかりやすく学習させていただきました。



実習交流会

10月21日(月)に1・2年生合同の実習交流会を行いました。今回は1年生の2回目の実習について、2年生からアドバイスをもらい、どのようにすれば実習を円滑に終わらせることができるのかを聞きました。介護実習は大変な面もありますが、利用者様と関わることで沢山のことが学べる機会だと実感しました。



編集後記

信州介護学校通信をお読みいただき、ありがとうございます。今年は感染症の状況を踏まえながら学校行事を縮小して実施いたしました。今後もより良い学校教育・地域貢献を目指していきたいと思っておりますので、ご指導ご鞭撻くださいますようお願い申し上げます。新しい年が皆様にとりまして、幸多い年でありますようお願い申し上げます。

【関連法人】

医療法人社団 敬仁会



桔梗ヶ原病院

社会福祉法人 平成会



通所介護事業所 無暦日庵

【姉妹校】

学校法人 松樹学園
信州リハビリテーション専門学校



学校法人 松樹学園
信州介護福祉専門学校

〒399-0733

長野県塩尻市大門三番町4番24号

電話：0263-87-0015 Fax：0263-87-0016

<https://syoujyu-g.ac.jp/kaigo/>



LINE



facebook



Instagram



HP